

> **2025年3月期**  
**第1四半期 決算説明資料〔IFRS〕**  
 (2024年4月 – 2024年6月)

**株式会社 LIXIL**  
 2024年7月30日

Copyright © LIXIL Corporation. All rights reserved.

> **2016年3月期よりIFRSに移行しています**  
**各段階利益の名称の違いは以下の通りです**

日本基準	IFRS（当社財務報告）
	<b>継続事業</b>
売上高	<b>売上収益</b>
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販管費	販管費
<b>営業利益</b>	<b>事業利益（CE）</b>
営業外収益・費用	その他収益・費用
経常利益	営業利益
特別損益	金融収益・費用
	持分法投資損益
税引前利益	<b>税引前利益</b>
	継続事業からの当期利益
	<b>非継続事業</b>
	非継続事業からの当期利益
当期利益	当期利益 ←
非支配持分に帰属する当期利益	<b>親会社の所有者に帰属する当期利益</b>
親会社の株主に帰属する当期利益	非支配持分に帰属する当期利益

IFRS基準の「**事業利益（CE）**」は日本基準の「**営業利益**」に相当

## ▶本日のポイント

### 2025年3月期 第1四半期 業績の総括

#### 2025年3月期 1Q実績 前年同期比、増収減益

- 国内事業は、新築向け売上減少をリフォーム向け売上にカバーし、両事業とも想定通りの事業利益にて着地  
LWT：リフォーム向け売上が堅調に推移  
LHT：窓リフォーム向け売上が4月以降回復
- 海外事業（LWT）の業績回復幅は限定的。  
欧州地域にて売上が回復するも、米国における需要回復に至らず  
欧州：利下げを見越し、流通向けチャネルでの売上が回復  
米国：リフォーム市場は低調継続、DPI社の追加在庫評価損計上あり  
アジア・中国：中国市場は低調、インド市場は好調継続
- 構造改革費用を含むその他費用や税金費用等の増加により、四半期利益は前年比悪化
- 営業キャッシュフローの改善は継続し、1Qにて146億円のフリーキャッシュフローを創出

LIXIL

2

## ▶本日のポイント

### 2025年3月期 足元の事業環境と今後の見通し

- 国内事業は、1Qは想定以上の新築着工数減少なるも、リフォームは堅調。ショールーム来館者数が増加しており、下期に向けた回復を見込む

#### LWT事業（日本）

- ✓ 価格改定効果は下期実施予定分も加えて、収益性改善に貢献の見込み
- ✓ 3Qに向け新商品含む拡販施策を展開し、取り込み利益の改善を目指す



#### LHT事業

- ✓ 新築向けは引き続き低調に推移するも、断熱窓・ドア等リフォーム向け売上は前年比プラスで推移する見込み
- ✓ 海外事業は、戦略転換が奏功、引き続き売上収益・利益の拡大を目指す



LIXIL

3

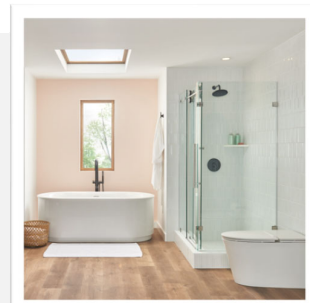
## ▶本日のポイント

### 2025年3月期 足元の事業環境と今後の見通し

- 海外事業は、インド・中近東以外の市場は低調なるも、欧州は回復の兆し。欧州は下期以降も売上の回復見込みの一方で、米国は低調継続の見込み

#### 米国事業の課題と今後の取り組み

- 需要低迷継続ならびにDPI社の在庫評価損の追加計上により、1Qにおける事業利益が低下
- 需要低迷下、浴槽事業は他社以上に苦戦するも、衛生陶器・水栓金具の当社シェアは昨年以降伸長
- 今後の利下げ実現などマクロ変化による需要回復を見越した供給体制の整備
- 追加の人員施策を実施。組織体制のさらなる強化の推進



LIXIL

4

## ▶2025年3月期 第1四半期決算ハイライト

### 前年同期比で増収減益

- **売上収益 3,698億円、前年同期比 107億円増**
  - ・ 1Q3ヵ月（増減率）：国内 0%、海外 +10%（為替影響除く、-2%）
- **事業利益 6億円、前年同期比 31億円減**  
(事業利益内訳)
  - ・ 1Q3ヵ月：  
LWT国内 46億円、LWT海外 3億円、LHT 53億円、連結調整/他 -95億円
- **最終四半期利益<sup>(1)</sup> -59億円、前年同期比 62億円減**
  - ・ 構造改革費用を含むその他費用や税金費用等の増加により、四半期利益は前年比悪化

## 2025年3月期 第1四半期 連結業績結果

(億円)	第1四半期 3ヵ月			
	24/3期	25/3期	前年同期比	%
売上収益	3,592	<b>3,698</b>	+107	+3.0%
売上総利益	1,156	<b>1,174</b>	+17	+1.5%
(%)	32.2%	<b>31.7%</b>	-0.5pt	-
販管費	1,119	<b>1,167</b>	+48	+4.3%
事業利益 <sup>(1)</sup>	37	<b>6</b>	-31	-82.9%
(%)	1.0%	<b>0.2%</b>	-0.9pt	-
非継続事業を含む 最終四半期利益 <sup>(2)</sup>	4	<b>-59</b>	-62	-
EPS (円)	1.31	<b>-20.39</b>	-21.70	-
EBITDA <sup>(3)</sup>	234	<b>217</b>	-17	-7.2%
(%)	6.5%	<b>5.9%</b>	-0.6pt	-

- 売上総利益率：前年同期比0.5pt悪化
- 販管費：国内人件費の増加、為替影響による海外販管費の増加を主因に前年同期比48億円の増加（日本+41億円、海外-38億円、為替換算影響+46億円）。販管費率は、0.4pt悪化
- 事業利益率：前年同期比0.9pt悪化

**LIXIL** (1) 日本基準の「営業利益」に相当  
(2) 親会社の所有者に帰属する四半期利益

(3) EBITDA=事業利益+減価償却費

6

## 2025年3月期 第1四半期 業績概況

LWTは、日本・海外事業ともに増収なるも、海外事業が回復途上であり、事業利益の回復は限定的。LHTは、新築向け売上の低調が影響し減収なるも、想定通りの事業利益を計上

	(億円)	第1四半期 3ヵ月		
		24/3期	25/3期	前年同期比
LWT	売上収益	2,141	<b>2,289</b>	+148
	事業利益	38	<b>49</b>	+11
LHT	売上収益	1,474	<b>1,434</b>	-40
	事業利益	84	<b>53</b>	-31
全社/ 連結調整	売上収益	-23	<b>-25</b>	-2
	事業利益	-84	<b>-95</b>	-11
合計	売上収益	3,592	<b>3,698</b>	+107
	事業利益	37	<b>6</b>	-31

為替影響<sup>(1)</sup>

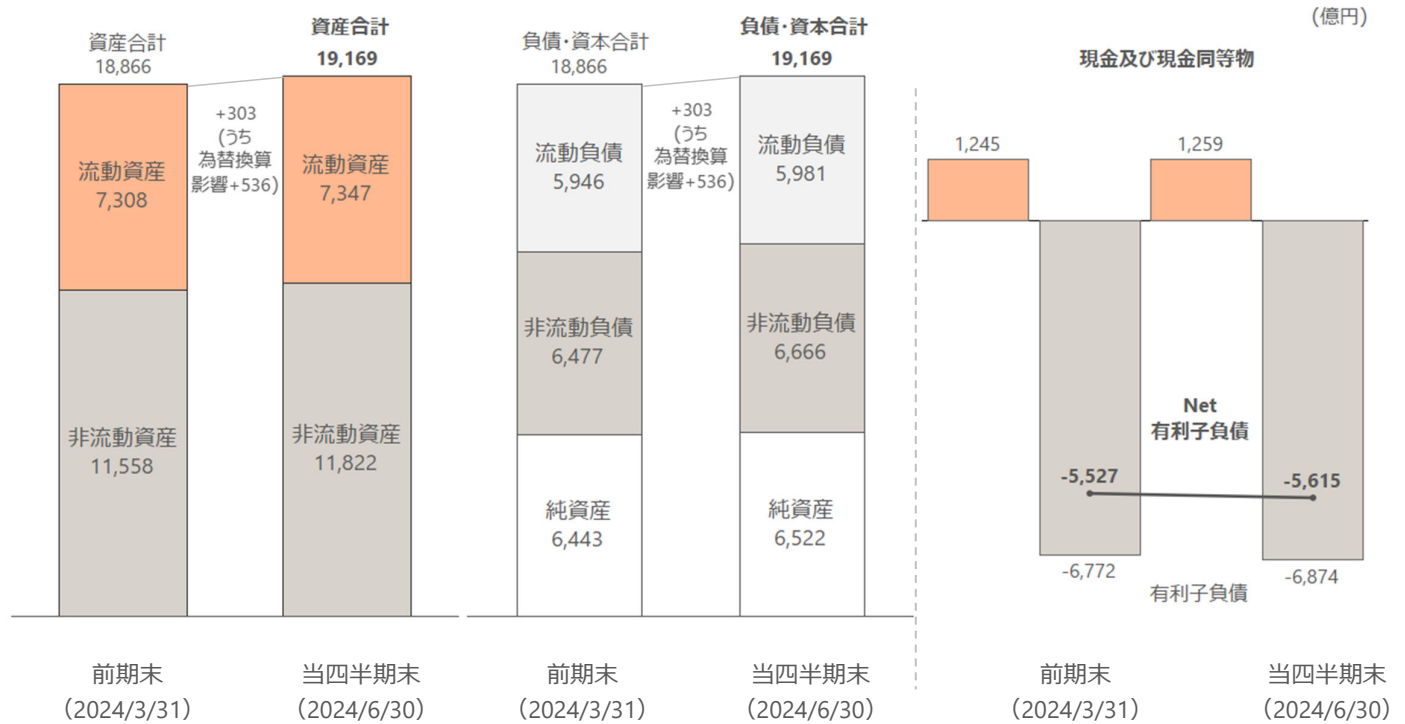
1Q3ヵ月：売上収益 +138億円、事業利益 -1億円

**LIXIL** (1) 在外子会社からの損益の為替換算影響額

7

## 連結財政状態

主として為替影響により有利子負債額が増加し、自己資本比率は、33.9%

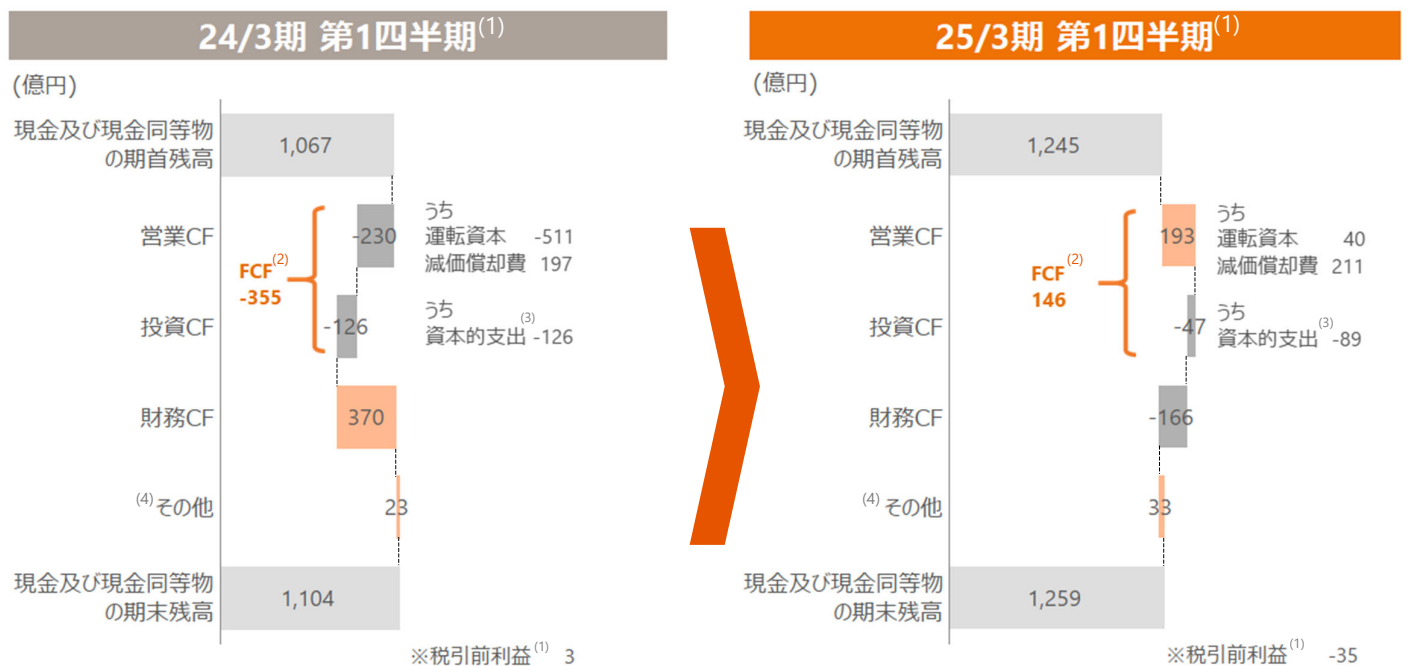


LIXIL

8

## キャッシュフローの状況及び現金残高

運転資本の前年同期比改善により、営業キャッシュフローのプラスが継続。  
フリーキャッシュフローは、前年同期比で502億円改善



LIXIL

(1) 非継続事業を含む  
(2) フリーキャッシュフロー (FCF) = 営業CF+投資CF で計算

(3) 資本的支出=有形資産の取得+無形資産の取得 (IFRS16 リースによる使用权資産の取得を除く)

(4) 「その他」 = 為替換算影響額

9

## セグメント別決算の概要



ウォーターテクノロジー事業 (LWT)



ハウジングテクノロジー事業 (LHT)

10

## ウォーターテクノロジー事業 (LWT)

日本事業は増収減益、海外事業は欧州地域の回復により増収なるも、事業利益の回復は限定的

		(億円)	25/3期 第1四半期実績		前年同期比		25/3期 業績予想
			増減	%	増減	%	
日本	売上収益		1,022	+32	+3.2%	4,390	
	事業利益		46	-8	-14.5%	210	
	%		4.5%	-0.9 pt	-	4.8%	
海外	売上収益		1,267	+117	+10.1%	5,190	
	事業利益		3	+19	+121.1%	185	
	%		0.3%	+1.6 pt	-	3.6%	
LWT合計	売上収益		2,289	+148	+6.9%	9,580	
	事業利益		49	+11	+29.2%	395	
	%		2.1%	+0.4 pt	-	4.1%	

### 売上収益

- **日本**：新築着工数の落ち込みの影響を受けるが、価格改定、及び、快適性の向上を目的としたリフォーム売上増加により前年同期比で増収
- **海外<sup>(1)</sup>**：欧州地域にて売上回復するも、米国の需要低迷継続により、現地通貨ベースで減収、円貨では増収
- **海外売上比率**：前年同期比1.6pt増の55.3%

### 事業利益

- **日本**：新築着工数の減少の影響あるも、リフォーム売上増加と価格改定効果にてカバーし、想定通りの着地。前年同期比では、減益
- **海外<sup>(1)</sup>**：欧州の需要回復により、前年同期比、増益



## ウォーターテクノロジー事業 (LWT) 海外地域別売上収益

地域別売上 (マネジメントベース) <sup>(1)</sup> (億円)	25/3期 1Q実績	前年同期比		25/3期 業績予想	前年同期比 現地通貨 ベース
		現地通貨 ベース			
アメリカ	440	-6%	<sup>(2)</sup>		+3%
欧州、中東、アフリカ地域	534	+9%			+6%
中国	113	-12%			+1%
アジア太平洋地域	119	0%			+10%
連結調整・他	61	-			-
<b>LWT海外合計 (制度会計ベース)<sup>(1)</sup></b>	<b>1,267</b> (前年同期比 +10%)			<b>5,190</b> (前年同期比 +9%)	

### ■ アメリカ

需要軟化により、現地通貨ベースで減収。円貨では増収

- ✓ 需要低迷継続により、現地通貨ベースで減収。コスト削減施策の効果により販売数量の減少を一部相殺
- ✓ 引き続き、商品・販売先構成のシフトならびにコスト削減施策効果による収益性向上に努める

### ■ 中国

不動産市況低迷、消費意欲低下により、現地通貨ベース、円貨共に減収

- ✓ 3月までのプロモーションによる反動減あり売上低下。需要の低迷は継続

### ■ 欧州、中東、アフリカ地域

欧州地域において需要回復、中東が好調継続し、現地通貨ベース、円貨共に増収

- ✓ 浴室・シャワー関連商品の売上回復と一部顧客の受注再開が収益性改善に寄与
- ✓ 中東は通常の販売活動への戻りにより全地域で増収

### ■ アジア太平洋地域

地域により売上増減あり、現地通貨ベースでは前年同期並み。円貨では増収

- ✓ インドは堅調な売上を維持、ベトナムはプロジェクト向けの受注が改善するも小売り向け販売は低調継続、タイは景況感の悪化により減収

**LIXIL**

(1) 制度連結会計 為替レート： 25/3期 1Q実績1USD=156.53円、1EUR=168.37円

マネジメントベース為替レート： 25/3期 1USD=150.0円、1EUR=162.0円

(2) DPI社の解散に伴い、同社の売上を昨年実績から除いています。DPI売上を昨年も加えた前年同期比は-9%となります

12

## ハウジングテクノロジー事業 (LHT)

### 日本事業における新築の落ち込みを受け減収減益

	(億円)	25/3期 第1四半期実績	前年同期比		25/3期 業績予想
			増減	%	
日本	売上収益	1,371	-43	-3.0%	5,955
	事業利益	51	-31	-37.9%	365
	%	3.7%	-2.1 pt	-	6.1%
海外	売上収益	64	+3	+5.6%	275
	事業利益	2	0	+7.3%	15
	%	3.7%	+0.1 pt	-	5.5%
<b>LHT合計</b> <sup>(1)</sup>	売上収益	1,434	-40	-2.7%	6,230
	事業利益	53	-31	-36.8%	380
	%	3.7%	-2.0pt	-	6.1%

#### 売上収益

- 価格改定、及び住宅性能・快適性の向上を目的としたリフォーム向け売上堅調なるも、新築向け売上低迷により前年同期比で減収

#### 事業利益

- 新築着工数の減少の影響あるも、窓リフォーム向け売上が端境期から脱し、直前四半期比収益性が回復。価格改定効果と窓リフォーム向け売上が同時に発現した昨年同期に比較すると減益なるも、想定通りの着地

**LIXIL**

(1) 2025年3月期1Q実績 (ご参考)

LHTビル事業除く 売上収益 1,210億円、事業利益 52億円、事業利益率 4.3%  
ビル事業売上収益 225億円、事業利益 1億円、事業利益率 0.3%

13

## ▶ (ご参考) データ集

14

## ▶ 商品・サービス別売上状況

LWT関連商材は堅調なリフォーム需要を背景に昨年同期比プラスで推移。LHTでは、直前四半期に低下していた補助金対象「住宅サッシ」の売上が回復

セグメント	主要商品名	24/3期 通期実績	24/3期 1Q実績	25/3期 1Q実績	前年 同期比 (%)	前年同期比 (%)				
						24/3期				25/3期 1Q
						1Q	2Q	3Q	4Q	
LWT	衛生機器** <sup>(1)</sup>	1,065	240	254	+5.7% <sup>(1)</sup>	-2.2	-3.7	+2.3	+3.0	+5.7
	バスルーム	899	219	228	+4.2%	+3.0	+0.1	+3.6	+5.1	+4.2
	洗面化粧台 <sup>(1)</sup>	389	92	87	-5.8% <sup>(1)</sup>	+0.7	-1.9	+1.7	+1.8	-5.8
	キッチン	978	234	240	+2.3%	-5.2	-5.0	-1.0	-1.2	+2.3
	タイル	313	73	73	-0.9%	-1.1	-0.8	-3.0	-2.9	-0.9
LHT	住宅サッシ	1,854	466	472	+1.3%	+14.6	+22.8	+16.2	-5.6	+1.3
	エクステリア	947	243	242	-0.5%	-6.6	-7.1	-6.8	-6.3	-0.5
	インテリア建材	587	140	135	-3.7%	-7.4	-9.2	-3.7	-5.4	-3.7
	その他LHT	424	109	96	-12.1%	+1.8	+0.4	-2.3	-12.1	-12.1
	ビルサッシ	998	220	225	+2.0%	+12.1	-4.9	+8.1	+3.7	+2.0
	住宅・サービス事業	228	62	45	-26.7%	-9.5	-4.6	-29.3	-19.8	-26.7
	海外売上 <sup>(2)</sup>	5,021	1,210	1,330	+9.9%	-5.8	-1.6	-5.3	-3.6	+9.9
その他・連結調整等	1,128	282	273	-						
<b>売上合計</b>		14,832	3,592	3,698	+3.0%	-0.3	+0.2	-0.1	-3.2	+3.0

(ご参考) \*\*「衛生機器」に含まれる水栓金具の売上状況

LWT	水栓金具	258	61	61	-0.3%	+7.3	-0.7	+9.1	+2.2	-0.3
-----	------	-----	----	----	-------	------	------	------	------	------

**LIXIL**

(1) 今期より衛生機器と洗面化粧台売上の社内管理方法を変更しています。前期を同様に組み替えた場合の1Q売上の前年同期比：衛生機器 +1.9%、洗面化粧台 +1.1%  
 (2) 海外水まわり事業の商品別売上状況については、p.17参照

15



## 日本 - 国内リフォーム戦略の進捗：リフォーム向け売上の拡大への注力

リフォーム商材売上構成比1.9pt上昇。LWTは堅調なリフォーム需要を背景に、リフォーム比率が向上。LHTの窓リフォーム売上が端境期から回復し、堅調に推移

(億円)	第1四半期 3か月			
	24/3期実績 <sup>(1)</sup>	25/3期実績	増減	前年同期比
リフォーム商材売上	860	905	+46	+5.3%
LWT-J				+6%
LHT				+4%
ビル事業除く				+4%
ビル事業				+13%
リフォーム売上構成比	44%	46%	+1.9pt	

### セグメント別リフォーム売上構成比

### リフォーム加盟店の推移<sup>(2)</sup>

	24/3期 1Q	25/3期 1Q	増減
LWT	52% <sup>(1)</sup>	54%	+2.4pt
LHT	38% <sup>(1)</sup>	40%	+1.5pt
国内・計	44%	46%	+1.9pt

店	23年 3月	24年 3月	24年 6月
LIXILリフォームショップ (FC)	544	548	545
LIXILリフォームネット (ボランティア)	11,224	11,173	11,190



(1) 同一基準に基づく比較を可能とするため、前年同期のリフォーム売上高を遡及修正  
 (2) 2024年4月～リクシルPATTOリフォームサービスショップ制度はLIXILリフォーム店紹介サービスに統合しました

16

## 海外 - ウォーター事業における海外事業の成長促進の進捗

ブランド・ポートフォリオやグローバルな開発体制、差別化された商品の展開により、現地ニーズに迅速に対応し、海外事業の成長を促進<sup>(1)</sup>

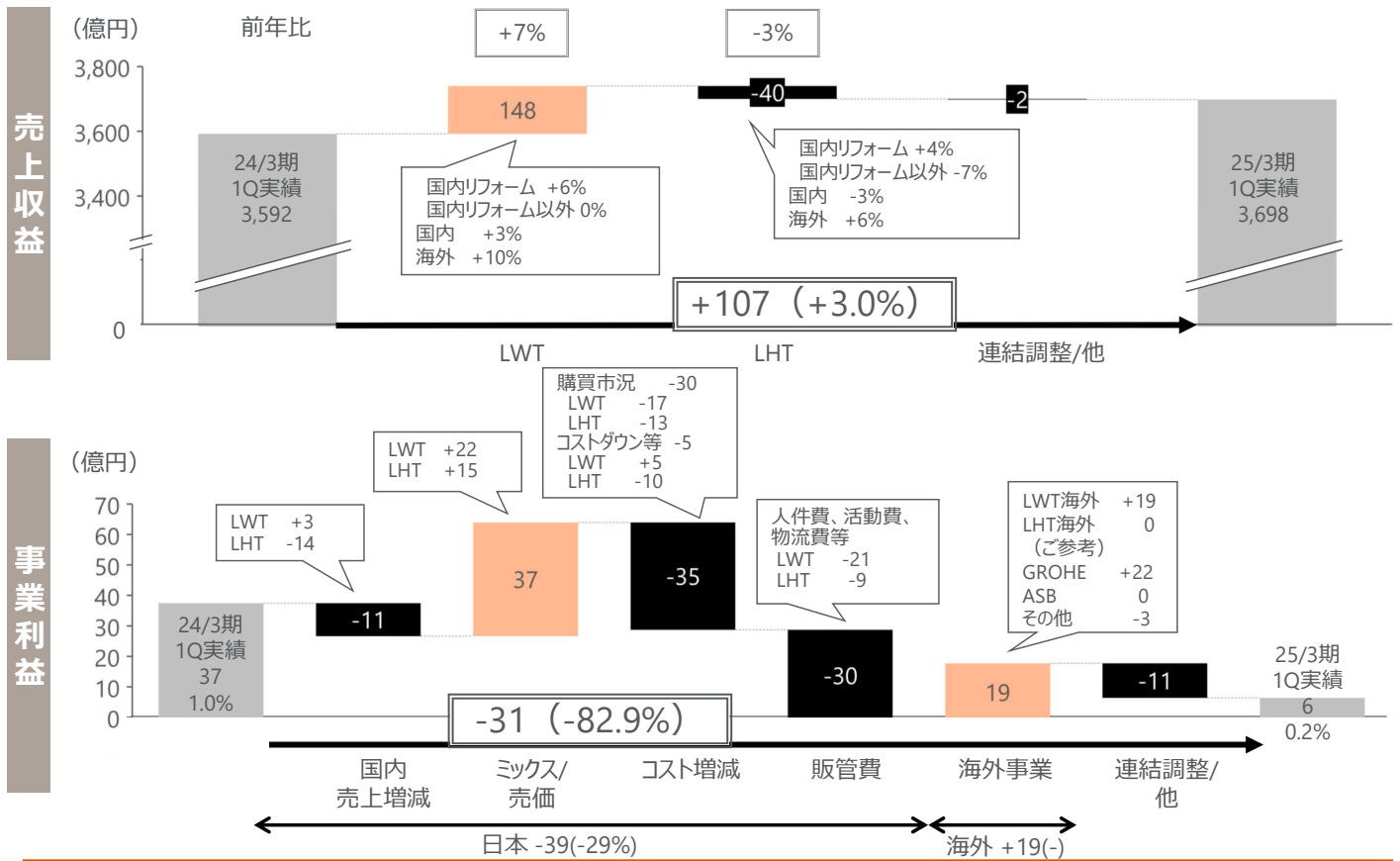
売上構成比	25/3期 第1四半期 3か月				
	海外事業合計	アメリカ	欧州、中東、アフリカ地域	中国	アジア太平洋地域
水栓金具 (浴室)	41%	12%	62%	47%	43%
衛生陶器等	40%	55%	24%	45%	53%
水栓金具 (キッチン)	8%	5%	13%	5%	2%
浴槽・シャワーシステム	9%	24%	0%	0%	1%
その他	2%	3%	0%	3%	2%
合計	100%	100%	100%	100%	100%
売上伸び率					
水栓金具 (浴室)	+8%	+2%	+15%	-14%	-1%
衛生陶器等	-3%	-4%	-3%	-5%	-2%
水栓金具 (キッチン)	+5%	+14%	+6%	-16%	-23%
浴槽・シャワーシステム	-14%	-14%	+52%	-17%	-4%



(1) LIXIL Playbookの優先課題『ウォーター事業における海外事業の成長促進』の進捗については統合報告書2024 p.31-35、44ご参照  
[https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/ir\\_material\\_for\\_fiscal\\_ym37/158025/00.pdf#page=32](https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/ir_material_for_fiscal_ym37/158025/00.pdf#page=32)

17

## 2025年3月期 第1四半期 売上収益・事業利益の増減（前年同期差）



LIXIL

18

## 2025年3月期 第1四半期 その他収益・費用、金融収益・費用 内訳

(億円)	24/3期 1Q実績	25/3期 1Q実績	増減
その他	12	7	-6
<b>その他の収益</b>	<b>12</b>	<b>7</b>	<b>-6</b>
有形固定資産処分損	3	2	-1
減損損失	1	1	0
売却目的で保有する処分グループを売却コスト控除後の公正価値で認識したことにより発生した損失	11	-	-11
その他	11	15	+5
<b>その他の費用</b>	<b>26</b>	<b>18</b>	<b>-8</b>
受取利息	3	4	+1
受取配当金	5	6	+1
為替差益	2	-	-2
その他	0	1	0
<b>金融収益</b>	<b>11</b>	<b>11</b>	<b>0</b>
支払利息	22	30	+8
デリバティブ評価損	5	2	-3
為替差損	-	7	+7
その他	4	0	-4
<b>金融費用</b>	<b>31</b>	<b>39</b>	<b>+8</b>

■ その他の費用：構造改革関連費用含む

LIXIL

19

## セグメント別 実績及び通期業績予想

		24/3期 第1四半期			25/3期 第1四半期				25/3期 通期予想				
		日本	海外	計	日本	海外	計	前年同期比%	日本	海外	計	前期比%	
		(億円)											
LWT	売上収益	991	1,150	2,141	1,022	1,267	2,289	+6.9%	4,390	5,190	9,580	+6.8%	
	事業利益	53	-16	38	46	3	49	+29.2%	210	185	395	+73.9%	
	%	5.4%	-	1.8%	4.5%	0.3%	2.1%	+0.4pt	4.8%	3.6%	4.1%	+1.6pt	
LHT	売上収益	1,414	60	1,474	1,371	64	1,434	-2.7%	5,955	275	6,230	+4.5%	
	事業利益	82	2	84	51	2	53	-36.8%	365	15	380	+5.9%	
	%	5.8%	3.6%	5.7%	3.7%	3.7%	3.7%	-2.0pt	6.1%	5.5%	6.1%	+0.1pt	
連結調整・他 <sup>(1)</sup>	売上収益			-23			-25	-			-110	-	
	事業利益			-84			-95	-			-425	-	
LIXIL <sup>(1)</sup>	売上収益	2,404	1,210	3,592	2,393	1,330	3,698	+3.0%	10,345	5,465	15,700	+5.9%	
	事業利益	135	-13	37	96	6	6	-82.9%	575	200	350	+51.1%	
	%	5.6%	-	1.0%	4.0%	0.4%	0.2%	-0.9pt	5.6%	3.7%	2.2%	+0.7pt	

LIXIL (1) 国内・海外の売上収益/事業利益の合計と「計」の金額の差は、連結調整・他の金額

20

## 主要海外子会社

ASB (ASD Holdings) (百万米ドル)	24/3期					25/3期 1Q	前年同期比
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期		
売上収益	327	332	315	309	1,283	298	-9%
事業利益	-14	0	0	-10	-24	-12	-
事業利益率	-	-	-	-	-	-	-

Grohe Group (グローエ) (百万ユーロ)	24/3期					25/3期 1Q	前年同期比
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期		
売上収益	373	360	343	380	1,457	390	+4%
事業利益	8	4	7	4	23	20	+159%
事業利益率	2%	1%	2%	1%	2%	5%	+3.1pt

ASB (ASD Holdings) (百万米ドル)	24/3期 残高	25/3期 1Q 残高
のれん <sup>(1)</sup>	248	248
無形資産 <sup>(1)</sup>	243	241

Grohe Group (グローエ) (百万ユーロ)	24/3期 残高	25/3期 1Q 残高
のれん <sup>(1)</sup>	1,195	1,197
無形資産 <sup>(1)</sup>	1,393	1,390

為替レート (25/3期 1Q実績)  
期中平均 1USD=156.53円、1EUR=168.37円  
期末 1USD=161.07円、1EUR=172.33円

LIXIL (1) のれん及びその他の無形資産とその評価については、2024年3月期 有価証券報告書 p.151-153「14. のれん及びその他の無形資産」に記載  
[https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/yuho\\_pdf/S100TO9T/00.pdf#page=151](https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/yuho_pdf/S100TO9T/00.pdf#page=151)

21

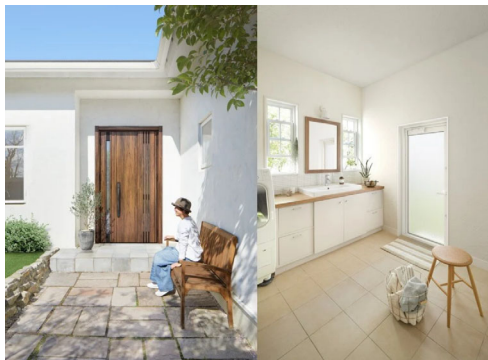
## ➤ (ご参考) 事業関連・ESG関連トピックス

22

## ➤ 事業・ESG関連トピックス

### 製品を通じたCO<sub>2</sub>排出量削減への寄与

#### 「先進的窓リノベ2024事業」対象 リフォーム向けドアのラインナップ強化



- 環境省の「先進的窓リノベ事業」は、今年からドアも補助金対象となり、窓だけでなく玄関ドアや勝手口ドアのリフォーム需要も増加
- 対象となるリフォーム用ドア「リシエント」のラインナップを強化。「リシエント玄関ドア3」へ3デザインを追加したほか、「リシエント勝手口ドア」に“高断熱仕様”を新たに追加<sup>(1)</sup>
- リフォーム需要を取り込み、住宅の高性能化も推進

### イノベーションによる 豊かで快適な住まいの実現

#### 「KINUAMI」のグローバル展開 「Kitchen and Bath China (KBC) 2024」で紹介



- 5月に中国・上海で開催された、アジア最大級の水まわり製品展示会KBCに出展し、先進技術やエンドユーザーのニーズに応えるイノベーションを訴求
- 日本で開発の「KINUAMI」を進化させた「GROHE PureFoam」を紹介。今年中に販売開始予定
- 中国はLIXILで3番目の売上規模を誇り、イノベーションと商品開発をけん引する市場

23

## 事業・ESG関連トピックス

### デジタルトランスフォーメーション（DX） の取り組み

「DXグランプリ企業2024」に初選定<sup>(1)</sup>  
CX、EXの向上が評価



- 「DX銘柄」において「DXグランプリ企業2024」に初選定。DX銘柄選定は3年連続
- 顧客体験（CX）、従業員体験（EX）をともに向上させ、実績を上げている点が高く評価<sup>(2)</sup>
- より価値の高いCXを提供するため、従業員の働き方にもデジタル技術を取り入れることでEXを高め、独自の製品・サービスを生み出すとともに、エンゲージメントの向上を推進

### 環境ビジョン「Zero Carbon and Circular Living（CO<sub>2</sub>ゼロと循環型の暮らし）」 の推進

「TCFD・TNFD提言に基づく情報開示  
レポート」を発行<sup>(3)</sup>



- 気候変動および自然資本・生物多様性を含めた環境課題に関する情報を統合し、リスクや機会、影響や依存などに関するレポートを発行。TNFD提言に基づいたレポートの発行は初
- 日本の建材業界で初めてSBTネットゼロ認定を取得した「2050年までに事業プロセスと製品・サービスによるCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロ」に向けた取り組みを推進するとともに、関連する情報開示を強化

LIXIL <sup>(1)</sup> ニュースリリース [https://newsroom.lixil.com/ja/20240528\\_dx](https://newsroom.lixil.com/ja/20240528_dx)  
<sup>(2)</sup> 経済産業省「DX銘柄2024」選定企業レポート [https://www.meti.go.jp/policy/it\\_policy/investment/keiei\\_meigara/dxstockreport-2024.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/investment/keiei_meigara/dxstockreport-2024.pdf) <sup>24</sup>  
<sup>(3)</sup> ニュースリリース <https://newsroom.lixil.com/ja/20240618tcfdtnfd>

## 外部評価

GPIFが採用する6つのESG指数すべての構成銘柄に選定（2024年7月時点）

Morningstar日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・  
ティルト指数（除くREIT） [2年連続]

MORNINGSTAR GenDi J

Japan ex-REIT Gender Diversity  
Tilt Index

TOP CONSTITUENT 2024

免責事項は当社ウェブサイト<sup>(1)</sup>をご参照ください。

FTSE Blossom Japan Index <sup>(2)</sup> [8年連続]  
FTSE Blossom Japan Sector Relative Index <sup>(2)</sup>  
[3年連続]



FTSE Blossom  
Japan



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index

FTSE4Good Index Series <sup>(2)</sup>  
[8年連続]



FTSE4Good

MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数

2024 CONSTITUENT MSCI日本株  
ESGセレクト・リーダーズ指数

免責事項は当社ウェブサイト<sup>(1)</sup>をご参照ください。

MSCI日本株女性活躍指数(WIN) [8年連続]

2024 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

免責事項は当社ウェブサイト<sup>(1)</sup>をご参照ください。

S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数  
[7年連続]



DXグランプリ企業2024

「デジタルトランスフォーメーション銘柄」に  
選定（3年連続）、「DXグランプリ企業  
2024」に初選定（2024年5月）

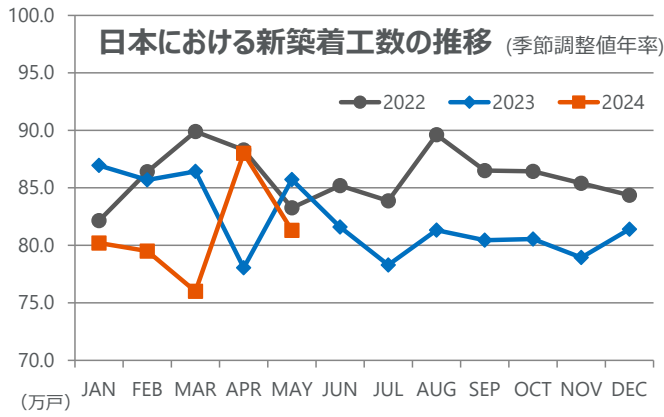


DXグランプリ2024  
Digital Transformation

LIXIL <sup>(1)</sup> 当社ウェブサイト <https://www.lixil.com/jp/about/evaluation.html>  
<sup>(2)</sup> FTSE4Good Index Series <https://www.lseg.com/en/ftse-russell/indices/ftse4good>  
 FTSE Blossom Japan Index Series <https://www.lseg.com/en/ftse-russell/indices/blossom-japan>



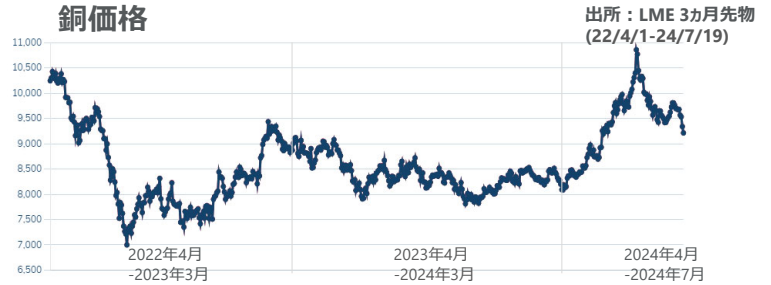
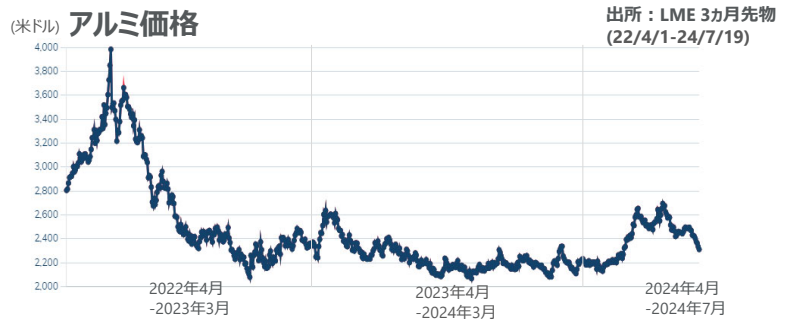
## 事業環境



### 新築着工水準 (対前年比)

- 2024/1-3：-9.6%
- 2024/1-5：-4.1%

	2024年1月-5月 (5ヵ月)		2024年4月-5月 (2ヵ月)	
	戸数	前年比	戸数	前年比
総数	324,741	-4.1%	142,465	+4.1%
持家(1)	82,844	-7.9%	35,095	-6.3%
貸家	139,592	+0.6%	61,773	+7.7%
分譲マンション	48,682	-2.7%	23,202	+37.0%
分譲戸建(2)	50,374	-12.1%	20,684	-13.7%
戸建合計(1)+(2)	133,218	-9.5%	55,779	-9.2%



為替 (期中平均レート)	23/3期 実績	24/3期 実績	25/3期 計画前提
米ドル	134.95円	144.40円	150.0円
ユーロ	141.24円	156.80円	162.0円

原材料価格の 実績	23/3期 実績	24/3期 実績	25/3期 計画前提
アルミ価格 (購入ベース)	39.2万円/トン	33.5万円/トン	40.0万円/トン
銅合金価格	98.9万円/トン	100.9万円/トン	109.6万円/トン

LIXIL

LIXIL

この資料には、(株)LIXILの将来についての計画と予測の記述が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な要素により当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。